



令和2年度第1号

第1回ごみゼロカフェ

プラスチックごみと 海の状況について学ぶ

講師 武本 匡弘氏（環境活動家/プロダイバー）

世界中で、大きな問題になっているプラスチックごみ。日本では今年の7月からレジ袋の有料化もスタートしました。川崎市では、「脱炭素戦略（かわさきカーボンゼロチャレンジ2050（案））」と「川崎市プラスチック資源循環への対応方針（案）」を発表し、市民の皆さんの声を聞きながら対策を推進する予定です。

第1回ごみゼロカフェでは、武本匡弘氏から、プラスチックごみと海の状況についてお話を伺い、参加した皆さんと一緒に意見交換をしました。

30数年、プロダイバーとして、海と向き合ってきましたが、海洋環境の劇的な変容は留まる事ありません。水中世界を中心に、環太平洋沿岸の海を見てきましたが、太平洋の真ん中辺りの状況はどうなっているのだろうか？と考え、5年前から自ら操船したヨットで探査・国際交流などを目的に航海を始めました。



講師の紹介

環境活動家/プロダイバー。1985年ダイビング会社開設。1999年特定非営利活動法人パパラギ海と自然の教室設立。東海大学教養学部人間環境学科環境総合演習を担当。2015年より気候変動・海洋漂流ゴミ探査・国際交流等を目的に太平洋航海プロジェクトを開始。自ら操船するヨットで、日本～マーシャル諸島～ミクロネシア海域を航海、海の変化等を見てきた。現在、各地で報告会、写真展などを開催。2019年エコストア・パパラギを藤沢市にて開設。

令和2年度 第1回ごみゼロカフェ 開催概要

- ◆開催日 令和2年9月20日（日）10：00～12：00
- ◆会場 高津市民館第4会議室
- ◆参加者 16名
- ◆内容

第1部 ①脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ2050(案)) ②プラスチック資源循環への対応方針(案)
第2部 講演「プラスチックごみと海の状況について学ぶ」 講師：武本 匡弘氏
第3部 講演を聞いて意見や感想を出し合い、最後にアイデアをごみゼロ川柳にまとめて発表



【お題1】本日の講演などで感じたこと

プラスチックごみの現状



みなさんの意見



- 海水温が32℃でびっくり！
- 海の汚染は予想以上に悪いことを理解しました。
- ペットボトルがマーシャル諸島まで流れて、かつ、浜がペットボトルキャップだらけになるなんて考えられないですね。
- 亀の鼻にプラスチックごみが刺さっていて、それを取り除く映像を見て、海のごみについて考える場面もありましたが、これほど海にごみがあふれていることに驚きました。
- 忘れていました。環境ホルモンのこと。プラスチックにも今も入っています。
- プラスチックごみの発生のは多さは実感しています。燃やせるごみとプラごみの比率は7：3の割合。
- 自分が想像しているよりも速いスピードで海が変わっていると実感しました。
- 無関心という罪。
- プラスチック製品は「将来の世代へのツケ」いい言葉です。
- 現状について自分自身知らなかったことが多かったです。これから調べていきたいと思いました。



熱心に講演を聞く幅広い層の参加者

気候変動とプラスチックごみ

みなさんの意見



- 気候変動とプラごみの密接さが改めて身にしみます。
- 「知ることが希望」この言葉が希望につながります。
- 「知ることが希望」たくさん知っていても何もできずに焦っている自分がいます。
- 知らないことこんなにあります。
- 子どもたちや孫、後世の人のためにもCO2削減に努めたい。
- 自分ができることから始めてみようと思いました。先進国の率先した取組が必要だと改めて思いました。



小学生もしっかりと参加

アイデアなど

みなさんの意見



- プランクトンがおいしく食べられるプラスチックがあったらいいなあ。
- 武本さんがやっているプラスチックフリーのお店に行ってみたい！
- 量り売りのシステムの普及や、プラ容器から紙容器への移行。

知らなかったことが、
たくさんあったね！



【お題2】海を守るために今後できそうなこと

プラスチックごみを減らす

みなさんの意見

- 海岸清掃に参加する。
- ポイ捨て禁止条例を是非！
- 川にごみが流れ込まないようにする。
- ごみが飛ばないようにするくらいのことから始められるのかな。
- 地域の路上にあるプラごみの片づけを少しやる。



講演の後は意見交換をしました



意見をポストイットに書いて貼り出しました

プラスチックどう使う？

みなさんの意見

- マイボトルを使う。ペットボトルは買わない。
- マイバッグ、マイカップ、マイタンブラー、マイストローの持参。
- マイボトルを忘れずに持参します。
- プラスチック製品、ストローは使わない。
- 環境に良いものなど知識を身に付け行動します。
- プラスチック製品を意識して使用を最小限にする努力します。
- 不織布のマスク何とかならないか(マスクが必要な時代なので)。
- プラスチックフリーの店を増やすための商品選びをする消費行動を考えます。
- 海に関わらず出かける際には、もしペットボトルであれば圧縮できる生分解性のボトルを利用します。

意識を変える

みなさんの意見

- 小中学生の環境授業で活かしたい。
- 見えないものはどうにもならん！個人が出しているプラごみ量を計ろう。
- 太陽光発電の使用、クーラー温度を下げる、地産地消を選ぶなど。
- みんなでパブコメを書こう！2030年を真剣に考えてほしい。本気の対策をと訴えたい。
- 企業のリーダーに現状を知らせます。



たくさんの貴重な意見が集まりました



ワークショップでは活発な意見が多数だされました

みんなで力を
あわせよう！



【お題3】プラスチックごみを減らすための標語を考えよう

ごみゼロカフェ川柳

- ポイ捨てみんなで拾うマイクロプラスチック削減
- プラごみは巡り巡って健康被害
- プラゴミの海知ったら使うのやめようプラスチック
- ごみがない海岸を歩くのが普通の2050年(にしたい)
- マグで飲むコーヒー格別また飲もう
- マイボトルマイバッグもって次世代救う
- 忘れずにいつも一緒だマイボトル
- その知識本当に正しい？知ろうプラスチック
- 海をみよ！君のそそうがそこにある
- 江戸文化エコな生活楽しく知ろう！
- 温暖化ごみのすて方気をつけよう
- プラごみはあなたの孫を苦しめる
- プラ容器以外の品をさがす時期



みんなの思いがあふれていてステキだね！

ごみゼロカフェサポーターになりませんか？

「ごみゼロカフェ」は、様々な市民が施設見学や講師からのお話しを通して、ごみの減量化・資源化について考えるイベントとして、年3回開催しています。お茶を飲みながらカフェのようにくつろぎながら意見交換し、ごみの減量のアイデアを出していきます。ごみゼロカフェで、ワークショップの進行や受付等のお手伝いをする「ごみゼロカフェサポーター」になりませんか？ サポーター詳細や登録はホームページからお願いします。

川崎市ごみゼロ
カフェサポーター



「ごみゼロカフェ」とは・・・

ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、様々な年代の市民や事業者など多様な主体がごみ減量について意見交換する場です。講演を聞いたり、意見を交換し、アイデアを出していきます。開催結果は「ごみゼロカフェNews」にまとめて広報するとともに、市のごみ減量施策に反映していきます。

■お問い合わせ 川崎市環境局生活環境部減量推進課

E-mail : 30genryo@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-2580 FAX : 044-200-3923